本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±10秒以内
表示方式：FE型デジタル表示
表示内容：時刻表示＝時・分・秒・午前/午後(AM,PMが点灯)
カレンダー表示＝年・月・日・曜日
完全無修正オートカレンダー
(年は西暦2009年まで表示可能)
アラーム表示＝時・分・午前/午後
アラーム表示時にアラームマーク(AL)が点灯
サウンドマーク(((●))) ブザーがONのとき、いずれの表示にも点灯
セット機構：時刻セット機構
カレンダーセット機構
秒合わせ機構
アラームセット機構
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池及び寿命：酸化銀電池(UCC-393) 1個　電池別途販売
約15ヵ月(1日当り、ライト1秒間5回点灯、ブザーを2回60秒間鳴らした場合)

■カレンダーの合わせ方……フルカレンダーモードで行ないます。

フルカレンダーモードになっていないときは
Ⓢ1ボタンを押して、フルカレンダーモード(年・月・日・曜日表示)にします。

〈フルカレンダーモード〉


(1) Ⓢ2ボタンを押すと「年」が点滅します。以後Ⓢ1ボタンを押すごとに以下の順で点滅する個所が移動します。点滅している個所がセット可能です。



年 → 日 → 月 → 曜日 →

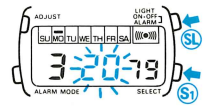
「年」のセット

(2) 「年」が点滅しているとき、ⓈⓁボタンを押すごとに「年」が進みますので合わせたい「年」に合わせます。(「年」は1970～2009年までセット可能なため、数字は09の次に70に戻ります。)



「日・月・曜日」のセット

(3) Ⓢ1ボタンを押し、合わせたい個所を選び、「年」のセットと同様、ⓈⓁボタンを押して合わせます。



※「日」セットのとき、ⓈⓁボタンを押すごとに「日」と同時に「曜日」も進みます。

セット完了

(4) セットが終わりましたら、どのセット個所からでも再びⓈ2ボタンを押せば、通常表示に戻ります。



この時計は大の月、小の月、うるう年も自動判別する「完全無修正オートカレンダー」ですので、1度カレンダーをセットすれば、電池交換時以外は修正する必要はありません。

ご使用上の注意

カシオトロンをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。
(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。
(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。
(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。
(4) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。
(5) このカシオトロンを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは…
(a) 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。
(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。
(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、約15ヵ月に一度電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。
(6) ボタン操作は確実におこなってください。
(7) このカシオトロンに使用しているメタルバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。(その際、時計本体には水がかからないようご注意ください。)

電池交換について

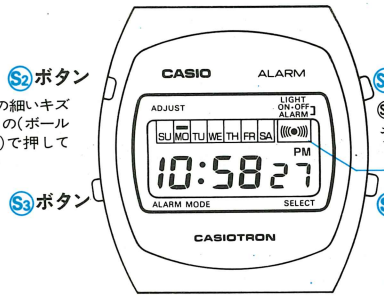
最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、15ヵ月に満たないうちに寿命がきれることがあります。
電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行ってください。
新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約15ヵ月ご使用になれます。
電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上、心ずお求めのお店かお近くのカシオトロン取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき、当社指定のカシオトロン専用電池(UCC-393・別途販売です)と交換してください。
カシオトロン専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

液晶パネルの交換について

この時計には高品質のＦＥ型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオトロン取扱店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

時刻・カレンダー表示の見方

この時計は年・月・日・曜日・時・分・秒・午前/午後と、**時に関するすべての情報**をボタン1つの操作により、3つのモードで表示します。



Ⓢ2ボタン
※Ⓢ2ボタンは先の細いキズのつきにくいもの(ボールペンの先など)で押してください。

Ⓢ3ボタン

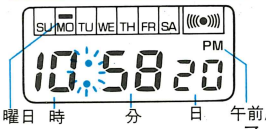
ⓈLボタン
Ⓢ1ボタン

ⓈLボタンを押している間、ライトが点灯します。

サウンドマーク
点灯しているとき、セット時刻にブザーが鳴ります。

Ⓢ1ボタンを押すごとに以下の様に表示が切替わります。

時刻・カレンダーモード
(時・分・午前/午後・日・曜日)



曜日 時 分 日 午前/午後マーク

Ⓢ1ボタンを押すと

Ⓢ1ボタンを押すと

※午前は"AM"が点灯します。

時刻モード
(時・分・秒・午前/午後・曜日)



曜日 時 分 秒 午前/午後マーク

フル カレンダーモード
(年・月・日・曜日)



曜日 月 日 年

※年は西暦年の下2桁が表示されます。

Ⓢ1ボタンを押すと

※3つのモードはコロン(:)で簡単に見分けられます。

コロン(:)が
- 点滅している→**時刻・カレンダーモード**
- 点灯したまま→**時刻モード**
- 表示されない→**フル カレンダーモード**

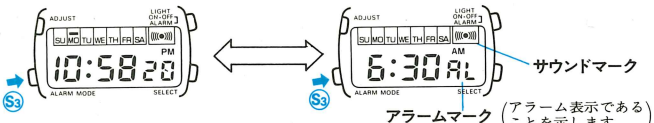
アラームの使い方

この時計のアラームは24時間制(午前/午後指定)で、時刻セットは分間隔でできます。セット時刻になると電子ブザーが30秒間鳴ります。

■アラーム表示への切替え

- 3つのどのモードからでもⓈ3ボタンを押すと「アラーム表示」になります。
- アラームを鳴らしたい時刻にセットするときや、セットした時刻を確認するときに「アラーム表示」にします。
- もう1度Ⓢ3ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。

通常表示 (3つのどのモードでもかまいません)　**アラーム表示** (セットされている時刻が表示されます)



■サウンドマークについて

●ブザーのON/OFF

アラーム表示のとき、ⓈLボタンを押すごとにサウンドマークが灯いたり(ブザーがON)、消えたり(ブザーがOFF)します。



ON のとき(点灯)……セット時刻になると電子ブザーが30秒間鳴ります。

OFFのとき(不灯)……セット時刻になっても電子ブザーは鳴りません。

●鳴っているブザーを止めるには

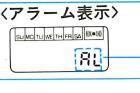
どの表示のときでも、ⓈLボタンを押すとブザーが止まり、サウンドマークも消えてブザーは**OFF**になります。

※サウンドマークが点灯しているかぎり、毎日同時刻にブザーが鳴ります。

■アラーム時刻のセット……アラーム表示で行ないます。

アラーム表示になっていないときは

3つのどのモードからでも、Ⓢ3ボタンを押すとアラーム表示になります。



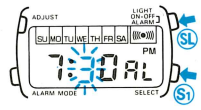
「時」のセット

(1) Ⓢ1ボタンを押すと、「時」とAMあるいはPMが点滅します。ⓈLボタンを押すごとに「時」が進みますので合わせたい「時」に合わせます。
(AM、PMは「12」をすぎるごとに入れ替わります。)



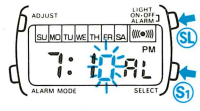
「10分台」のセット

(2) Ⓢ1ボタンを押すと「10分台」が点滅します。(1)と同様、ⓈLボタンで「10分台」を合わせます。
(数字は「5」の次は「0」に戻ります。)



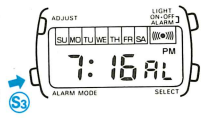
「1分台」のセット

(3) Ⓢ1ボタンを押すと「1分台」が点滅します。同様にⓈLボタンで「1分台」を合わせます。
(数字は「9」の次は「0」に戻ります。)



セット完了——ブザーON

(4) Ⓢ3ボタンを押すと点滅しなくなり、アラーム表示に戻ります。このときサウンドマークが点灯していない場合はⓈLボタンを押します。
(このあともう1度Ⓢ3ボタンを押すと通常表示になります。)



正時あるいは10分単位の時刻をアラームにセットするには

- **(1)で「時」をセットしたあと、Ⓢ3ボタンを押すと「分」は自動的に00にセットされてジャストの時刻(例えば7:00)がセットできます。**
- **(2)で「10分台」をセットしたあと、Ⓢ3ボタンを押すと同様に10分単位の時刻(例えば7:10)がセットできます。**

■アラーム時刻の変更、解除

変更：あらたにアラーム時刻をセットすることにより変更できます。
解除：ブザーをOFFにすればブザーは鳴りません。(「ブザーのON/OFF」の項をご参照ください。)

時刻・カレンダーの合わせ方

■時刻の合わせ方……時刻モードで行ないます。

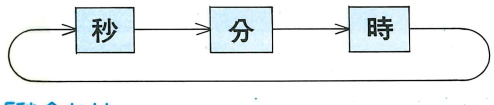
時刻モードになっていないときは

Ⓢ1ボタンを押して、時刻モード(時・分・秒・午前午後・曜日表示)にします。



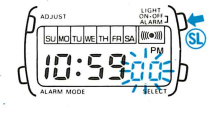
(1) Ⓢ2ボタンを押すと「秒」が点滅します。以後Ⓢ1ボタンを押すごとに以下の順で点滅する個所が移動します。点滅している個所がセット可能です。





「秒合わせ」

(2) 「秒」が点滅しているとき、時報に合わせてⓈLボタンを押すと点滅しながら00秒からスタートします。



秒表示が00～29のときは切り捨てられ、また30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。30秒以内の遅れ進みはこの方法で修正できます。
※時報は電話117番が便利です。

「秒合わせ」だけのときは、続けてⓈ2ボタンを押してください。
秒表示の点滅は止まり、通常表示に戻ります。

他の個所も続けて修正するときは、Ⓢ2ボタンを押さずにⓈ1ボタンを押してください。「分」が点滅を始めます。

「分」のセット

(3) 「分」が点滅しているとき、ⓈLボタンを押すごとに「分」が進みますので、合わせたい「分」に合わせます。
(数字は「59」の次は「00」に戻ります。)



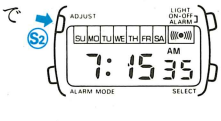
「時」のセット

(4) 「分」のセットのあとⓈ1ボタンを押し、「時」が点滅しているとき、ⓈLボタンで「時」を合わせます。
(AM、PMは「12」をすぎるごとに入れ替わります。)



セット完了

(5) セットが終わりましたら、どのセット個所からでもⓈ2ボタンを押せば通常表示に戻ります。



※この時計は平均月差±10秒以内(常温)という高精度ですので、月に一度、「秒合わせ」をしていただけば、時計はいつも正確です。